

第31回中国ミニバスケットボール交歓記念大会

女子決勝戦

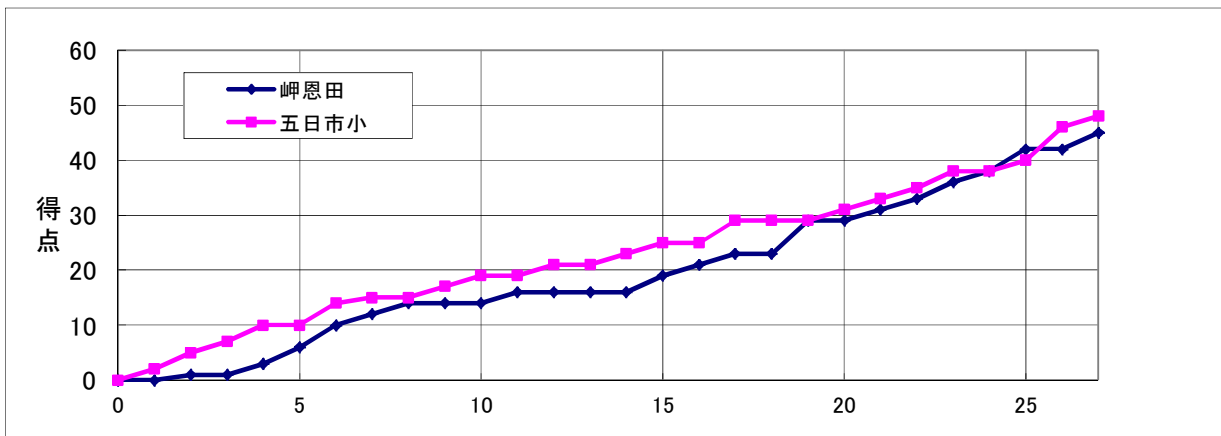
主審 藤本 久志
副審 藤埴 恵美子

岬恩田 45 (山口県) ●	$\begin{pmatrix} 10 & - & 14 \\ 6 & - & 7 \\ 7 & - & 8 \\ 15 & - & 9 \\ 7 & - & 10 \end{pmatrix}$	48 五日市小 ○ (広島県)
-------------------	---	--------------------

No. 25B4

日時: 2011年12月25日(日) 12:15

会場: キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター



岬恩田

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT			
4	稲月 智美	19		7	5			
5	田中 南海	8		3	2			
6	矢川 莉那	0		0	0			
7	先田 夏菜	0		0	0			
8	田辺 美来	4		2	0			
9	田村 紀子	0		0	0			
10	田村 理子	0		0	0			
11	青山 七奏	0		0	0			
12	藤井 莉子	0		0	0			
13	藤田 彩歌	2		1	0			
14	大見 菜々子	0		0	0			
15	柴田 紗菜	1		0	1			
16	谷口 茜	11		5	1			
17	奥田 愛	0		0	0			
18	榎部 早代	0		0	0			
コーチ 吉田 憲守								
合計		45		18	9			

五日市小

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT			
4	西野 梨奈	13		4	5			
5	本田 菜月	2		0	2			
6	橋村 実咲希	16		7	2			
7	脇田 珠音	13		5	3			
8	西田 結梨	4		2	0			
9	北橋 果奈	0		0	0			
10	田辺 くるみ	0		0	0			
11	中田 百香	0		0	0			
12	白井 明音	0		0	0			
13	和田 奈菜子	0		0	0			
14	北尾 美凧	0		0	0			
15	石口 夏花	0		0	0			
16	平 朝香	0		0	0			
17	田中 佑希	0		0	0			
18	佐々森 陽菜	0		0	0			
コーチ 上田 志津江								
合計		48		18	12			

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦 評

1Q ディフェンスは岬恩田マンツーマンに対して五日市は岬恩田の#4に対するボックスワン。そのディフェンスが効いて、岬恩田がなかなかオフェンスのリズムが取れない中五日市の#6、#7が得点を重ねる。特にエンドからのスローインではナンバープレイで2本決めた。一方岬恩田では#16の速攻や#4の得点で10-14とQ後半盛り返した。2Q 岬恩田はマンツーマン、五日市はゾーン。岬恩田は#13のミドルシュート、#5のミドルシュート、#8の速攻で得点するのに対して、五日市は#4がガードポジションからのカットインあるいはポストプレイで全得点をあげて、前半終了時で16-21と五日市がリード。

3Q 岬恩田はマンツーマン、五日市は再び岬恩田#4に対するボックスワン。Qはじめは五日市#4が落ち着いてボールを回し、ノーマークの#8や#6にパスを出して優位にゲームを運ぶ。それに対して岬恩田は#4のミドルシュートや#16の速攻で応戦。23-29となった。4Q ディフェンスは変わらず。五日市の#6がミドルシュート、カットイン、バスケットカウントと得点を重ねる。一方岬恩田は#5の0°からのミドルシュート、#16、#8の速攻、#4の崩れながらもねじ込むレイアップシュートが決まり追い上げムードになり、ついに残り12.7秒で#4がフリースローを2本とも決め、初めて同点に追いつき、そのまま延長に突入。4Qからの積極性がリズムをつくっていた岬恩田が#4のシュートや#16の速攻でリードしたところの残り時間1分59秒、#4の5ファウルで退場。攻守の要である#4がいない中必死のプレーを行ったが、リング下を支配した五日市が優位に展開。再逆転して45-48の大熱戦となった。

| 記者 | 福田 正則 (所属) 山口県ミニバスケットボール連盟